

平成31年度当初予算における新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業実施を見送ったもの】

(単位：千円)

文化市民局 予算要求の内容			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
京都市美術館再整備における森林資源の活用促進事業	今後とも国内外の人々を魅了する美術館としていくため、開館準備に取り組むにあたり、森林資源を活用した初度調弁を行う。	5,500	京都府において、「豊かな森を育てる府民税」交付金が見直されたことに伴い、事業実施を見送り。	
ちびっこひろばのベンチ等の設備の整備	子どもたちの健全な育成と地域コミュニティの形成を図るために設置されているちびっこひろばに、京都府内産木材（京都市内産みやこ杉木）を活用したベンチ等の整備を行い、木の良さ、ぬくもりを実感していただくことで、木の文化継承の機会を創出する。	3,300	京都府において、「豊かな森を育てる府民税」交付金が見直されたことに伴い、事業実施を見送り。	
心地よい木の温もりを感じる庁舎ロビーの整備	広く区民に利用される区役所庁舎窓口の待合ロビーに「木製ロビーチェア」を設置し、木材の利用を通じて、木の優しさと温もりを実感する機会を提供することにより、木材の特性やその利用の促進の意義についての市民理解の醸成を図るとともに、来庁者が待ち時間を少しでも快適に過ごすことができる待合空間の整備を行う。	1,000	京都府において、「豊かな森を育てる府民税」交付金が見直されたことに伴い、事業実施を見送り。	
上京区140周年記念事業「子どもたちの手から木のぬくもりを～88歳おめでとうプロジェクト～」	上京区140周年記念事業として実施。88歳お祝い訪問において、子どもたちから北山杉を活用した孫の手を手渡しお祝いすること等により、世代を超えた区民の交流を図るとともに、木材の良さやその利用の意義を伝え、森を育てる文化に触れる機会の創出と、森林資源を次代に繋ぐ大切さを認識してもらう。	1,900	京都府において、「豊かな森を育てる府民税」交付金が見直されたことに伴い、事業実施を見送り。	

平成31年度当初予算における新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業実施を見送ったもの】

(単位：千円)

文化市民局 予算要求の内容			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
笑顔と花いっぱいプロジェクト（木製プランターカバーを自分たちでつくってみよう！）	平成28年3月に策定した「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」山科区運動プログラムにおいては、『地域の身近な環境整備による犯罪の防止』を目指すため、区内の主な幹線道路に花のプランターを設置し、地域住民や沿道企業等の協力を得て、水やり等の管理や道路の清掃を行うとともに、地域コミュニティの活性化を図っている。平成30年度には、新たに新十条通に200個のプランターを設置する予定である。平成31年度は、山科区内の小学生に、従来から行っている花の世話（花苗の植栽及び育成）に加えて、新たに設置するプランターに被せる京都府内産木材（京都市内産みやこ杣木）を活用した木製プランターカバーを手作りしてもらい、当該プロジェクトをさらに充実させる。	1,200	京都府において、「豊かな森を育てる府民税」交付金が見直されたことに伴い、事業実施を見送り。	